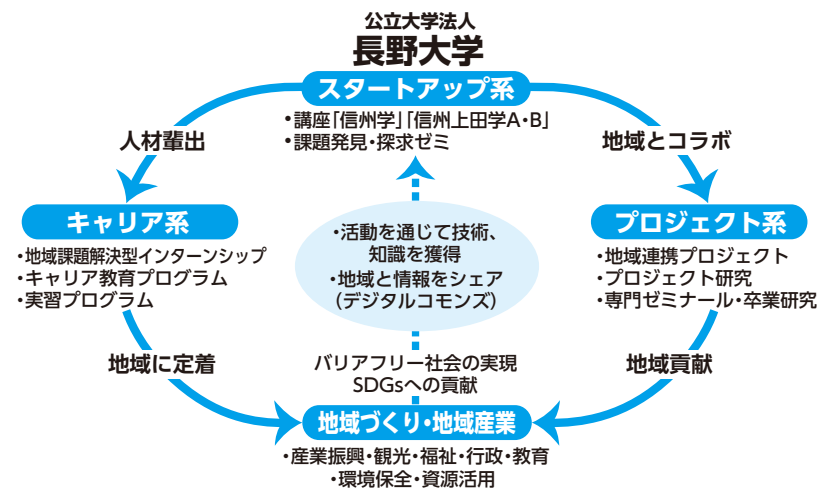


長野大学「信州上田学」の取り組みは、本学の「長野大学 VISION」や「中期計画」に掲げられています。上田市政においても、「上田の魅力を知り、ともに地域を築く体験を通して若者定着へと繋げる信州上田学の推進」が位置づけられました。これにより、本学は上田市の公立大学として、学園都市上田の中核を担い、地域の多様な主体との連携をとおして、地域貢献していくことを目指しています。

「信州上田学イメージ図」



本学では、信州上田学を推進する地域のパートナー（地域団体、企業、人材）を求めています。長野大学地域づくり総合センターは、その連携をコーディネートします。

公立大学法人  
**長野大学** 地域づくり総合センター

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1  
(9号館1階附属図書館内)

Tel : 0268-39-0007

<https://www.nagano.ac.jp/>

E-mail : [renkei@nagano.ac.jp](mailto:renkei@nagano.ac.jp)



# 信州上田学

## 上田に学び、上田メソッドをつくる

地域の方々によって創設された長野大学は地域貢献の先駆的の大学として地域学の研究と教育に取り組んできました。2017(平成29)年度から上田市の公立大学となり、より一層地域貢献できる学びの体系として初年次から4年次まで地域課題の解決に取り組む地域協働型教育を推進しています。

21世紀社会は、市民、企業や行政を含む組織等が主体で活動・協働しつつ、学生世代を含む次世代と一緒に創り出していくものです。長野大学は学生が“地域で”、あるいは“地域と”実践的に地域課題と向き合う学び、地域の皆様と協働する学びを実践します。全国どこの地域においても求められる地域課題解決の方法論「上田メソッド」をつくり、上田から全国に広げていくことを目指します。



**2020年度  
の取り組み**

前期に街歩きを通じて地域で発見したまちの魅力を発信する「信州上田学A」、後期にはオムニバス形式によるアクティブラーニングを中心とする「信州上田学B」を開講しました。  
 前期後期の終わりにオンラインと対面を併用して成果発表会を開催しました。(いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して実行)  
 2年目のこうした取り組みによって、「信州上田学」講義の大学による自走を目指しました。  
 来年度(2021年度)以降も、引き続き信州上田学を推進していきます。

**上田探検隊～上田ってどんなまち？\*1**



【上田まち歩きの様子】

学生がまちあるきし、上田がどんなまちかを探りました。  
 ～まちに触れる。古い地図と今を見比べる。まちの姿をデータで持ち帰る～「うえだマップ」に投稿しネットに公開。  
 学生一人一人が自分の目線で捉えたまちの姿を可視化し、上田の魅力、課題を伝え合いました。

**若者・住民の意見が反映される  
上田の地域づくり\*4**



【グループ発表の様子】

上田市の選挙への関わり方を考えました。  
 上田市選挙管理委員会から若者の政治参加と選挙の状況について情報提供していただき、次の上田市長選挙と市議会議員選挙において、有権者の関心を喚起し、投票率を向上させる具体的な方策を、グループごとに議論し、提案しました。

**福祉の源流を知る、源流に触れる\*2**



【上田城址公園を視察】

上田市出身で、わが国の更生保護と民生委員制度の土台をつくった小河滋次郎に焦点を当て、民生委員制度をテーマに学びました。  
 小河滋次郎博士顕彰会のご協力により、講義とフィールドワークを通じて、民生委員制度を中心とした社会福祉と小河の生涯、活動の軌跡を辿りました。

**デザインから見る上田の歴史\*5**



【グループごとに年表づくり】

大正・昭和の上田で特色のあった農民美術運動、洋風建築にフォーカスし、上田の歴史を学びました。  
 農民美術は上田市立美術館学芸員、農民美術作家から、洋風建築は建築家から話を聴き見聞を深めました。  
 そのまとめとしてグループごとに上田の年表を作成しました。

**農福連携を学ぶ\*3**



【エリスン安達氏による講義風景】

厚生労働省・農林水産省が推進している農福連携について学びました。  
 農福連携に関する基礎的な知識を得た後、上田市で展開している就労継続支援事業所 NPO 法人エリスンから職業指導員を招いて、実際の活動について学び、質疑応答によって理解を深めました。

**2020年度「信州上田学」  
発展セミナー\*6**



【出店ブースを取材する学生たち】

次年度の地域協働による課題解決型の専門科目やインターンシップに繋がるテイクオフ企画として、メルシャン株式会社シャトー・メルシャン 椀子ワイナリーについて学ぶオンラインセミナーを開催しました。  
 椀子ワイナリー長による講義、マルシェの学生取材報告が行われました。

**上田  
メソッドが  
描く未来**

地域協働の学びをととした地域課題解決の方法論である上田メソッドは、次のような特徴をそなえています。  
 ①地域がまるごとキャンパスとなり、学生の主体的・自発的な興味関心に基づき、学びのテーマを創造する。  
 ②地域現場での学生と地域の多様な主体との協働活動をととして、生きた社会を学ぶ。  
 ③地域の課題解決に求められる知識や技術を学生が主体的・複合的に獲得し、アイデアを創発する。  
 信州上田学では、こうしたメソッドを学生が修得し、地域社会に飛び立つことを支援します。これにより、若い力が躍動し、市民の力と融合する活気ある地域づくりと、バリアフリー社会の実現と、SDGs(持続可能な開発目標)への貢献を目指します。



\*1：前期開講  
 \*2～\*6：後期開講



\*\*「デジタルコモンズ」とは地域の情報(文書・動画・画像など)をインターネットで蓄積したりやりとりするメディア環境です。